

「何が人生を生きるに値するものとするのか」

北海道釧路北陽高等学校長 鈴木 亮 介

皆さんは、何をもちてその人生を費やすに値すると思いますか？富や名声なのか、それではない何かが生に意味と取り組む価値を与えるのであれば、それは何なのでしょう？

高校卒業後に、大学や専門学校等で「学ぶこと」、企業等で「働くこと」にどれだけの重要性や意味をもたせるのかは、最終的には自分で決めることです。その決定の際に中心となる考え方も、押し付けられるものではなく、様々な学習や体験を通じて、自らが考え、形成・確立すべきものです。「何をもちてその人生を費やすに値すると思えるのか」という問いの答えを出すのは、皆さん自身以外の誰でもありません。

「進路のしおり」にある、様々な情報や、釧路北陽高校のあらゆる場面で学んだことをとおして、皆さん一人一人が、人生観・社会観などを含んだ価値観を形成できることを、私たち教職員は全力でサポートします。



釧路港から出航する船の姿が、皆さんの姿と重なります。

人生を費やすに値する何か、心ゆくまで学びたいことや職業として取り組みたいことは何かを、おおいに探し求めよう。そして、平和で豊かな世界を創造することに貢献するという使命を意識して、大きく広がる未来へ出航しよう。